

躍進する私学

53 学校訪問

東京都市大学付属小学校

東京都世田谷区、創立=昭和31年、重永睦夫校長



平成21年に完成した新校舎



重永 睦夫校長



2年生の「こども郵便局」体験

東京都市大学付属小学校（東京都世田谷区、重永睦夫校長）は、昭和三十一年（一九五六）に同区用賀に東横学園小学校として設立、三十八年に現在の場所に移転した。平成二十一年（二〇〇九）、武蔵工業大学と東横学園女子短期大学の統合により、東京都市大学となった際に現在の校名となる。

建学の精神は「すこやかにか

『他人のために尽くせる子ども』を育てる

しくりりしく凛として、世界にはばたく、気高い子供たち」で、リーダーとしての品格を育てる学校、であることを明確に打ち出す。これは五島慶太・初代理事長が東横学園の設立時に述べた文章に基づき、キーワードとなる①健康②知性と風格③合理主義④独立

した生計⑤宗教的情操——を児童や保護者に分かりやすくしたもので、正面玄関に掲額している。低学年は「こども郵便局」をはじめ、見る、聞く、調べる、作る、等の豊富な体験学習を通じて「からだ全体で学ぶ」。中学年は「共に学ぶ」ために、協力し助け合いの心を養う。高学年は目標を解決する能力を培うために「自ら学ぶ」。そして、高い学力と、豊かな心を教育の二本柱とする。また、有名中学受験に対応

するため、六年生の十月までに学習内容を修了。以降は受験体制に切り替え、学習深度を増すカリキュラムに取り組み、高い学力を身に付ける。

学内の生活は、一年生から六年生までの「たてわり活動」を導入、他学年・他学級との繋がりの中で絆が生まれる。学校間連携活動も盛んで、東京都市大学をはじめとするグループ校との交流も深い。同大学とは「ロボットクラブ（環境情報学部、日本電気株式会社との共同研究）や、水素エンジンバスの試乗体験などを実施。中学校・高等学校、幼稚園とも多くの行事があり、豊かな心を育む。重永校長は「日本国内の全児童のうち、私立の小学校に通うのは、わずか5%。江戸時代の武士階級が全人口のうちの10%だったことを考えれば、選ばれた子どもたち」と言える。リーダーとして「他人のために尽くし、自分のことを後回しにできる人」になっほしい」と話す。

【学校概要】▽所在地 東京都世田谷区成城一―二―一▽児童数 四百七十八名